

第21回オンライン読書会+忘年会（8）（ラインビデオ通話による）

＜参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会＞「おんなとおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2020.12.5 開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
2020年4月より ラインによるオンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ：

○週刊文春 WOMAN2020 秋号

「女の問題は国境を越える」海野なつみ×チョ・ナムジュ

海野なつみ・・・「逃げるは恥だが役に立つ」

チョ・ナムジュ・・・「82年生まれ キム・ジョン」



★ 参加者：13名（女性10名 男性3名）

★ 参加者の感想

はじめに、「感想文」を書くはずなのですが、当日自覚がないまま記録していなかったため、「感想文」になっていない事をお詫びします。

私はひきこもり家族会を運営し、相談を受けています。「ひきこもり」の当事者とその家族の人間関係はまさに、男と女の問題が深くかかわっていると感じています。相談に来所する人は殆どが母親です。ひきこもりの相談に来ているのですが、話す内容は家族内の人間関係の不調です。それが女性の視点から語られるのです。



「82年生まれ、キム・ジョン」の中に、夫の実家へ帰省するたびに体を壊す、主人公ジョンと同じことが、日本のお母さん達にも起きている。昭和初期生まれの女性たちは愚痴を言いながらも我慢していたが昭和40年以降生まれの女性たちは我慢せず行動を変えている。「夫の実家には夫が行き、妻の実家には妻が行く」。そうすることで自分を守り、夫との衝突を避けている。しかしジョンのように夫の実家へ行くたび身体の具合が悪くなる妻たちはまだ大勢いる。それに反して夫の言い分は伝わってこない。

夫たちはどのように思っているのだろうか。嵐の過ぎるのを低姿勢でやり過ごしているだけなのか、「妻たちの嘆き・夫たちの沈黙」というテーマの本が1冊書けそうなほど相談に来所する人の多くが、その問題を抱えている。これは家族の結びつきが強いイタリアでも同じような事が起きていると聞く。

クリスマスに、どちらの実家に行くか夫婦げんかの嵐が起きているそうだ。

カップル間の紛争の原因が「家族」であることの悩ましさ。この「家族」の人間関係こそ



が様々な問題の起源となっている。ひきこもりの問題を抱えた家族の中で、関係性が良好な夫婦はほとんどいないと感じている。関係性に問題を抱えた夫婦の子供が、その環境の中で別の問題を抱えて苦しむ。この循環をどのようにして解いたら、家族は幸せになれるだろうか。そこがゆるく解けていく事で問題の多くが回復していくように思われる。読書会で男と女をテーマにすることは、この世で起きる問題のほとんどをカバーする事と思う。次回の読書会も期待しています。(家族支援士 山本 洋見)

★< 読書会 2周年！リモート忘年会を開催 >

- ◇ おんなとおとこを縛る？「同性の“同調圧力”」について参加者が夫々の思いを吐露。
- ◇ これまで20回の読書会の振り返り テキストとテーマの変遷、内容を紹介。
おんなとおとこが添い遂げる工夫を歴史的、社会的背景から、また性差としての機能的、本能的側面から考察。
- ◇ かくし芸 声楽、合唱、シャンソンと男性3人がご披露 (^^♪



それぞれの場所から、思い思いの気持ちを放出して、
リモート忘年会でも楽しい時間を共有することができました。
コロナ禍に始めたオンライン読書会。
今後は新しい形での繋がりをさらに充実させていきます。

新しい試みのオンライン読書会はいかがでしょう？



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶もは、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのセミナーもまた必見！
夫婦生活につまづいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんなとおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合いましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第22回 1月23日(土)10:30 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会（ZOOM）に参加ご希望の方は➡の
QRコードに（森友ラインあて）、お手持ちのスマホで
カメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

- ★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。